

川越市消防団だより

第二号

火災消火活動訓練を実施

川越市消防団では貫井達也団長指揮のもと、平成24年9月から10月の2ヶ月間にわたり、当消防団では初めてのなる実践形式の訓練「火災消火活動訓練」を川越北消防署で行い、各分団役員および機関員の6名ずつを対象に、全12分団が訓練を実施しました。

この訓練は、実践的かつ応用的な消火活動を想定し、団員の現場活動上の知識習得、技術向上を図るとともに、各分団相互の連携を強化し、火災消火活動における安全性、確実性および迅速性を確立することを目的として実施しました。

訓練内容は「折り島田ホースの作成・延長・撤収要領」、「二又分岐金具の取り扱い要領」、「操作時における確認呼称の徹底」、「現場到着時の水利部署要領」、「ホースカーでのホ

ース延長要領」等で、現場到着からの水利部署、ホースカー・二又分岐金具を用いたホースの設定、放水開始までの、火災消火活動における一連の動作を体系化したものです。

これまで、放水訓練やポンプ車操作訓練などは行ってきましたが、火災現場で活用されている実践的な「折り島田ホース」、「ホースカー」、「二又分岐金具」を用いた訓練は実施したことがありませんでした。訓練に参加した団員からは「始めはとまどいしましたが、実際の火災現場で必要な活動をしっかりと身につけることができました。」、「自分の行動を大きく呼称することで、連携する相手との動作の確認ができ、大変勉強になりました。」などの声が聞かれ、充実した訓練になりました。

今後は、訓練で習得した知識・技術を各分団に持ち帰り、分団員全員で復習するとともに、実践に活かしていきます。



折り島田ホースの作成訓練



二又分岐金具を使ったホース延長訓練



ホースカーでのホース延長訓練

活躍する女性消防団員

川越市消防団女性団員は、「普通救命班」・「防火啓蒙班」・「広報班」の3班で活動しています。消防団だより第2号では、防火啓蒙班の活動を紹介します。

『体験型防火防災教室』

川越市内の学童保育室で、煙発生時の避難訓練、119番通報の仕方、防災リュックの中身の確認、防災〇×クイズなどを行いました。子供達ももしもの時、用意しておいたリュックを背負い、口をおさえて煙の下をくぐり、安全な場所に避難して、119番通報をする。「自分の命は自分で守る」ことのできる子供の育成を目指し、今後も防火防災教室を行っていきます。

『住宅用火災警報器普及啓発寸劇』

「おばあちゃんに住宅用火災警報器を届けよう！」という新しい台本を作り、住宅用火災警報器普及啓発の寸劇を披露しました。着ぐるみのミミちゃん、トラ吉君と一緒に、警報器の設置の仕方や設置場所などについてやさしく説明し、大人から子供まで楽しくわかりやすい内容となっています。設置が義務化された住宅用火災警報器の普及が広まり、火災で命を落とす人が一人でも少なくなることを願い、これからも普及啓発活動に力を入れて行きます。



煙に見たてた毛布の下をくぐる練習



住宅用火災警報器普及啓発の寸劇

地域に密着した消防団活動

名細分団は「地域との連携」を確かなものにするため、平成24年9月9日に実施された鯨井自治会自主防災訓練に参加し、山崎分団長を中心に地域一体となった防災意識の啓発を図りました。

訓練は、大地震発生を想定し、同地区の住民およそ180人が鯨井自治会館へ一時避難し、その場で決められた班に分かれ、分団消防車の先導のもと川越西消防署名細分署まで移動する避難誘導訓練と、消防職員と協力し、初期消火訓練、煙体験ハウスでの火災避難訓練、AEDを使用した応急手当、分団消防車での放水体験などを行った後、自治会館に戻り、非常食のアルファ米を調理して炊き出し訓練を行いました。

今回の訓練を通じて、地域住民みなさんの防災、減災に対する意識高揚が図れ、災害発生時には「自分たちの地域は自分たちで守る」という意識をご理解頂けたとともに、消防団も地域の一人としてのつながりを深めることができました。

川越市消防団は、引き続き各自治会と連携し、地域防災、減災のために地域に密着した活動を展開していきます。



一時避難場所での班割誘導



避難誘導を分団消防車で先導



分団消防車からの放水体験



消防車積載の救助資器材の説明

団員紹介

川越市消防団では、新しく川越市内に転入してきた方や、大学生も団員になることができます。今年新たに入団した、やる気いっぱいの新人を2人紹介します。

【第3分団 本間 幸二(サラリーマン)】

趣あるまちの風景に惹かれ、川越に移り住みました。震災関連の番組で地域社会に貢献する消防団の活動を知り、深い感銘を受け、入団しました。

当初は不安の連続でしたが、親切な先輩方の指導のおかげで、馴染むまで時間はかかりませんでした。また、普通に働いているだけでは体験できない様々な経験が積めるので、本当に良かったです。

今後も地域の防災を担い、有事の際は率先して地域住民を守るよう努力します。



【団本部 深瀬 由里子(大学生)】

地元のバレーボールチームに所属しており、同じチーム内の女性団員に「やりがいがあるよ」と誘われ、見学に行った定例表彰式での防火啓蒙寸劇が、消防団との初めての出会いでした。

入団後、各種訓練や講習などを受け、防火啓蒙寸劇で着ぐるみを体験するなど、活動を重ねていくうちに、やりがいと楽しさを感じています。

これからも川越のまちを守る消防団員として頑張っていきます。

私たちと一緒に消防団活動をしてみませんか？ 興味のある方は、ぜひご連絡ください。

問い合わせ：消防局総務課 消防団担当 TEL222-0741

川越市消防団

検索

